



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年12月12日

上場会社名 フマキラー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4998 URL https://www.fumakilla.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大下 一明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 佐々木 高範 TEL 0829-55-2112
 四半期報告書提出予定日 2019年12月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	22,912	4.0	365	248.0	427	274.8	△249	ー
2019年3月期第2四半期	22,034	△11.2	105	△93.7	114	△93.3	55	△94.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △533百万円 (ー%) 2019年3月期第2四半期 △181百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△15.14	ー
2019年3月期第2四半期	3.36	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	31,714	16,014	47.4	912.69
2019年3月期	42,180	17,028	38.3	980.45

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 15,043百万円 2019年3月期 16,160百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	ー	ー	ー	26.00	26.00
2020年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2020年3月期 (予想)	ー	ー	ー	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,200	4.7	1,130	△0.5	1,410	5.8	340	△51.0	20.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	16,490,000株	2019年3月期	16,490,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	7,345株	2019年3月期	7,061株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	16,482,804株	2019年3月期2Q	16,483,396株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料における業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定の要素を含んでいます。実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値とは異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(経営成績)

(単位：百万円)

指標等	2019年3月期 第2四半期累計	2020年3月期 第2四半期累計	増減額	増減率 (%)
売上高	22,034	22,912	878	4.0
営業利益	105	365	260	248.0
経常利益	114	427	313	274.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は 親会社株主に帰属する 四半期純損失	55	△249	△305	—
1株当たり四半期純利益 又は1株当たり四半期純 損失	3円36銭	△15円14銭		

(国内・海外売上成績)

(単位：百万円)

	2019年3月期 第2四半期累計	2020年3月期 第2四半期累計	増減額	増減率 (%)
国内	14,060	13,613	△446	△3.2
海外	7,974	9,298	1,324	16.6
合計	22,034	22,912	878	4.0
海外売上構成比	36.2%	40.6%		

当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）におけるわが国の経済は、企業収益の改善、各種政策の効果などにより緩やかな景気回復基調が続いています。一方、世界経済においては、米中間の貿易摩擦や中国の景気減速懸念などにより、先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは「ひとの命を守る。ひとの暮らしを守る。ひとを育む環境を守る。わたしたちは、世界中の人々がいつまでも安心して快適に暮らすことのできる社会づくりに貢献していきます。」という経営理念のもとで、コア事業の殺虫剤、家庭用品、園芸用品の成長カテゴリーに新価値創造型新製品を積極的に投入し、既存事業の強化・育成を図るとともに、コストダウンや経費の効率的な運用等による利益構造の改革及び海外事業の強化拡大等の課題に努めてまいりました。

売上高は、前年同期比4.0%増の229億12百万円（為替変動の影響を除くと5.1%増）となりました。

国内売上は、防疫剤、その他の部門が増収となりましたが、殺虫剤市場が4月から6月にかけての天候不順の影響を受けた一方で、8月後半からの残暑が長引いたことで盛り返した結果、前年並みとなりましたが、当社は4月から6月の最盛期における売上減の影響が大きく殺虫剤売上は前年同期比7.2%の減収となりました。その結果、国内合計では前年同期比3.2%減の136億13百万円となりました。一方、海外売上は、インドネシアの子会社の売上が好調に推移し、円貨ベースでは前年同期比16.6%増の92億98百万円（為替変動の影響を除くと19.8%増）となりました。

次に、売上原価ですが、前年同期より9億10百万円増の164億7百万円となりました。その結果、売上原価率は71.6%で、前年同期より1.3ポイント増となりました。原価率のアップ要因は、売上構成が変動したこと、在庫削減の取組等によるものです。

これらの結果、売上総利益は65億4百万円（前年同期比0.5%減）となり、返品調整引当金調整後の差引売上総利益は63億86百万円（前年同期比1.3%増）となりました。

販管費につきましては、経費の効率的運用と削減に努めた結果、販管費は大きく減少し、前年同期比2.9%減の60億20百万円となりました。

これらの結果、営業利益は3億65百万円（前年同期比248.0%増）、経常利益は4億27百万円（前年同期比274.8%増）となりました。四半期純損益につきましては、親会社の繰延税金資産の取崩し等により、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億49百万円（前年同期は55百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

次に、商品部門別の概況についてご報告申し上げます。

(単位：百万円)

	2019年3月期 第2四半期累計	2020年3月期 第2四半期累計	増減額	増減率 (%)
殺虫剤	17,140	17,818	677	4.0
家庭用品	485	438	△47	△9.9
園芸用品	1,644	1,570	△73	△4.5
防疫剤	967	1,009	41	4.3
その他	1,795	2,075	280	15.6
合計	22,034	22,912	878	4.0

殺虫剤部門

殺虫剤部門では、国内におきましては、4月初旬から6月にかけての天候不順による影響を強く受け、8月以降残暑が長引き売上が回復基調となりましたが、最盛期である第1四半期の売上減を回復するまでには至らず、前年同期比7.2%減の減収となりました。

一方、海外におきましては、昨年天候の影響を受けて落ち込んだインドネシアの子会社の売上が回復したことから、前年同期比17.0%増の増収となりました。

これらにより、国内及び海外の殺虫剤合計の売上高は前年同期比4.0%増の178億18百万円（前年同期比6億77百万円増）となりました。

家庭用品部門

家庭用品部門は、「シューズの気持ちプレミアム280ML無香性」の売上が引き続き好調に推移し、主力のアルコール除菌剤も出荷ベースで好調に推移し、競争の激化の中、最終的な売上が前期を上回る結果となりました一方で、花粉関連商材が直前期に販売した商品の返品が増加した結果、家庭用品合計の売上高は前年同期比9.9%減の4億38百万円（前年同期比47百万円減）となりました。

園芸用品部門

園芸用品部門は、「虫よけ除草王プレミアム」を中心とした除草剤の売上が前年並みとなった一方で、主力の殺虫殺菌剤や不快害虫用殺虫剤が天候不順の影響を受けたこと等により売上が減少した結果、園芸用品合計の売上高は、前年同期比4.5%減の15億70百万円（前年同期比73百万円減）となりました。

防疫剤、その他の部門

防疫剤部門の売上高は、10億9百万円（前年同期比41百万円増、4.3%増）となりました。

その他の部門の売上高は、子会社のフマキラー・トータルシステム(株)のシロアリ施工工事が好調で、20億75百万円（前年同期比2億80百万円増、15.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産額は、前連結会計年度末に比べて104億66百万円減少し、317億14百万円となりました。主な要因は現金及び預金が7億36百万円、使用権資産が4億20百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が77億23百万円、たな卸資産が29億8百万円、投資有価証券が4億96百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べて94億52百万円減少し、156億99百万円となりました。主な要因は売上割戻引当金が2億76百万円、固定負債のリース債務が1億43百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が12億36百万円、電子記録債務が4億66百万円、短期借入金が80億61百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べて10億13百万円減少し、160億14百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が6億78百万円、その他有価証券評価差額金が3億32百万円、為替換算調整勘定が1億14百万円減少したこと等によるものであります。

自己資本比率は9.1ポイント増加し47.4%となりました。

②キャッシュフローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ6億58百万円増加し、51億15百万円となりました。

営業活動によって獲得した資金は97億64百万円（前年同期は72億38百万円の獲得）となりました。これは税金等調整前四半期純利益が3億96百万円、売上債権の減少額が75億64百万円、たな卸資産の減少額が28億88百万円、仕入債務の減少額16億92百万円あったこと等によるものであります。

投資活動によって使用した資金は5億11百万円（前年同期は12億10百万円の使用）となりました。これは定期預金の純増減額の増加が79百万円、有形固定資産の取得による支出が3億27百万円、無形固定資産の取得による支出が79百万円あったこと等によるものであります。

財務活動によって使用した資金は85億71百万円（前年同期は81億6百万円の使用）となりました。これは短期借入金の純増減額の減少が80億52百万円、配当金の支払額が4億28百万円あったこと等によるものであります。なお、当第2四半期連結会計期間末における借入金残高は、前連結会計年度末に比べ80億61百万円減少して、50億73百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月13日に公表しました通期の業績予想数値につきましては、2019年12月9日発表の「業績予想、配当予想の修正及び繰延税金資産の取り崩しに関するお知らせ」にて修正いたしました。当該業績予想の修正の詳細につきましては「業績予想、配当予想の修正及び繰延税金資産の取り崩しに関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,087,032	5,823,129
受取手形及び売掛金	12,463,230	4,739,522
電子記録債権	133,383	268,847
商品及び製品	6,893,484	4,645,075
仕掛品	1,051,239	736,923
原材料及び貯蔵品	2,016,164	1,670,673
その他	1,201,437	972,132
貸倒引当金	△1,404	△2,100
流動資産合計	28,844,567	18,854,203
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,702,764	1,635,268
機械装置及び運搬具(純額)	1,841,995	1,732,906
工具、器具及び備品(純額)	255,459	235,188
土地	785,086	786,848
リース資産(純額)	26,987	22,112
使用権資産(純額)	—	420,221
建設仮勘定	205,732	193,663
有形固定資産合計	4,818,025	5,026,210
無形固定資産		
のれん	799,597	754,619
商標権	677,200	633,551
その他	579,157	384,564
無形固定資産合計	2,055,956	1,772,735
投資その他の資産		
投資有価証券	6,040,345	5,543,755
退職給付に係る資産	89,888	89,609
その他	519,603	610,121
投資損失引当金	△44,990	△34,170
貸倒引当金	△142,629	△148,385
投資その他の資産合計	6,462,217	6,060,930
固定資産合計	13,336,198	12,859,876
資産合計	42,180,766	31,714,080

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,944,914	2,708,482
電子記録債務	2,221,516	1,754,638
短期借入金	13,135,785	5,073,841
リース債務	9,317	52,125
未払法人税等	172,430	227,910
賞与引当金	415,264	311,497
役員賞与引当金	—	1,671
売上割戻引当金	438,741	715,356
返品調整引当金	651,095	746,276
その他	2,589,549	2,263,333
流動負債合計	23,578,614	13,855,133
固定負債		
リース債務	17,670	161,369
退職給付に係る負債	402,685	427,072
役員退職慰労引当金	488,771	508,055
資産除去債務	9,687	9,779
その他	654,998	738,243
固定負債合計	1,573,812	1,844,521
負債合計	25,152,427	15,699,654
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,698,680	3,698,680
資本剰余金	4,797,103	4,797,103
利益剰余金	6,159,494	5,481,356
自己株式	△5,379	△5,744
株主資本合計	14,649,898	13,971,395
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,059,882	1,727,600
為替換算調整勘定	△508,004	△622,490
退職給付に係る調整累計額	△41,098	△33,016
その他の包括利益累計額合計	1,510,779	1,072,094
非支配株主持分	867,661	970,935
純資産合計	17,028,338	16,014,425
負債純資産合計	42,180,766	31,714,080

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	22,034,205	22,912,412
売上原価	15,497,524	16,407,822
売上総利益	6,536,680	6,504,589
返品調整引当金戻入額	197,462	248,789
返品調整引当金繰入額	429,893	366,572
差引売上総利益	6,304,248	6,386,806
販売費及び一般管理費	6,199,069	6,020,813
営業利益	105,179	365,993
営業外収益		
受取利息	16,370	33,558
受取配当金	55,967	66,579
為替差益	—	7,478
その他	67,671	60,864
営業外収益合計	140,010	168,479
営業外費用		
支払利息	16,425	29,335
売上割引	72,687	70,417
為替差損	31,155	—
その他	10,876	7,264
営業外費用合計	131,145	107,016
経常利益	114,044	427,456
特別利益		
固定資産売却益	1,705	5,973
投資有価証券売却益	2,530	—
受取保険金	26,039	—
特別利益合計	30,275	5,973
特別損失		
固定資産除売却損	27	27,164
投資有価証券評価損	—	95
関係会社株式評価損	—	7,244
役員退職慰労金	28,400	—
借入金繰上返済関連費用	29,777	—
投資損失引当金繰入額	—	2,674
特別損失合計	58,204	37,178
税金等調整前四半期純利益	86,115	396,250
法人税、住民税及び事業税	180,518	359,418
法人税等調整額	△213,540	154,566
法人税等合計	△33,022	513,985
四半期純利益又は四半期純損失(△)	119,137	△117,734
非支配株主に帰属する四半期純利益	63,699	131,847
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	55,438	△249,581

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	119,137	△117,734
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	74,822	△332,282
為替換算調整勘定	△385,923	△92,607
退職給付に係る調整額	10,909	8,894
その他の包括利益合計	△300,191	△415,995
四半期包括利益	△181,053	△533,729
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△209,879	△688,266
非支配株主に係る四半期包括利益	28,825	154,537

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	86,115	396,250
減価償却費	425,725	434,341
のれん償却額	29,747	28,450
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,521	24,812
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,286	9,276
その他の引当金の増減額 (△は減少)	175,010	292,581
投資損失引当金の増減額 (△は減少)	△2,932	△10,819
受取利息及び受取配当金	△72,338	△100,137
支払利息	16,425	29,335
為替差損益 (△は益)	31,155	△2,252
関係会社株式評価損	—	7,244
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2,530	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	95
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△1,678	21,191
受取保険金	△26,039	—
役員退職慰労金	28,400	—
借入金繰上返済関連費用	29,777	—
売上債権の増減額 (△は増加)	7,967,256	7,564,968
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,448,040	2,888,536
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,268,710	△1,692,593
その他	△1,209,566	139,121
小計	7,664,666	10,030,402
利息及び配当金の受取額	72,338	100,137
保険金の受取額	26,039	—
利息の支払額	△18,851	△31,268
役員退職慰労金の支払額	△28,400	—
借入金繰上返済関連費用の支払額	△29,777	—
法人税等の支払額	△447,870	△334,756
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,238,145	9,764,515
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△67,714	△79,366
有形固定資産の取得による支出	△449,246	△327,020
有形固定資産の売却による収入	1,790	7,468
有形固定資産の除却による支出	—	△26,404
無形固定資産の取得による支出	△49,437	△79,808
投資有価証券の取得による支出	△1,229	△1,289
投資有価証券の売却による収入	4,986	—
関係会社株式の取得による支出	△642,771	—
その他	△6,962	△4,764
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,210,584	△511,184
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△6,371,709	△8,052,930
長期借入金の返済による支出	△1,250,000	—
リース債務の返済による支出	△12,274	△38,084
自己株式の取得による支出	△914	△364
配当金の支払額	△428,574	△428,556
非支配株主への配当金の支払額	△43,229	△51,273
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,106,702	△8,571,209
現金及び現金同等物に係る換算差額	△92,117	△23,515
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,171,258	658,605
現金及び現金同等物の期首残高	6,438,532	4,457,369
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,267,274	5,115,975

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社の在外連結子会社は、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。

これに伴い、借手のリース取引については、原則としてすべてのリースについて使用権資産およびリース債務を認識するとともに、使用権資産の減価償却費とリース債務に係る支払利息を計上しております。本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表において、有形固定資産の「使用権資産(純額)」が420,221千円増加、無形固定資産の「その他」が250,850千円減少、流動負債の「リース債務」が45,256千円増加、固定負債の「リース債務」が146,126千円増加、「その他」が8,783千円減少、利益剰余金が26,493千円減少しております。

なお、従来無形固定資産の「その他」に含めて記載しておりました借地権250,850千円につきましては、第1四半期連結会計期間より「使用権資産(純額)」に含めて記載しております。

また、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	日本	東南アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,369,596	7,277,956	21,647,552	386,652	22,034,205
セグメント間の内部売上高又は振替高	635,894	648,441	1,284,335	—	1,284,335
計	15,005,490	7,926,397	22,931,888	386,652	23,318,540
セグメント利益又は損失(△)	△235,080	121,108	△113,972	33,221	△80,750

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでいます。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△113,972
「その他」の区分の利益	33,221
セグメント間取引消去	185,929
四半期連結損益計算書の営業利益	105,179

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	日本	東南アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,145,879	8,387,468	22,533,347	379,064	22,912,412
セグメント間の内部売上高又は振替高	838,658	862,327	1,700,986	—	1,700,986
計	14,984,538	9,249,796	24,234,334	379,064	24,613,399
セグメント利益又は損失(△)	△507,647	731,975	224,328	△44,595	179,732

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでいます。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	224,328
「その他」の区分の損失	△44,595
セグメント間取引消去	186,260
四半期連結損益計算書の営業利益	365,993

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。